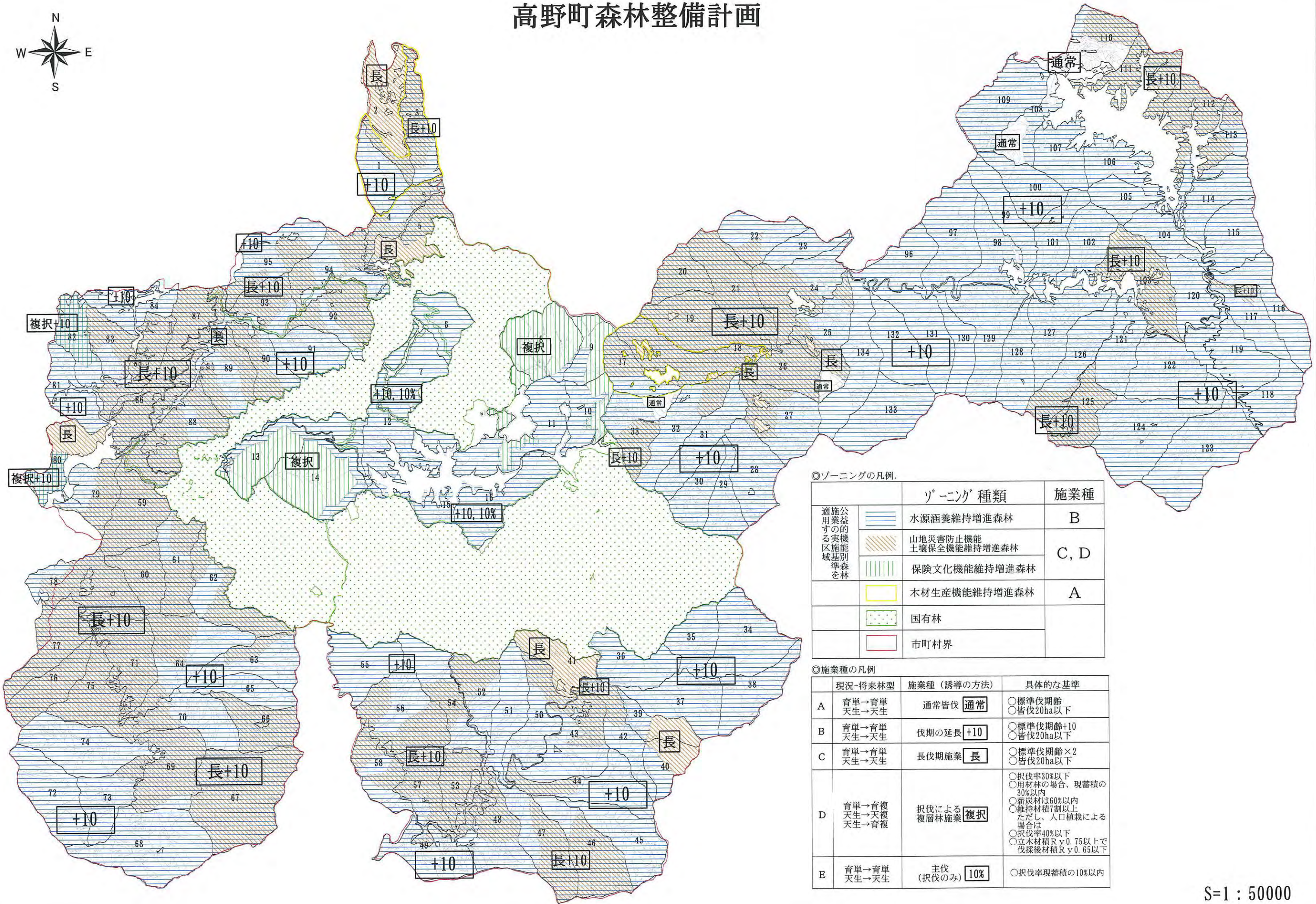


高野町森林整備計画



◎ゾーニングの凡例.

	ゾーニング種類	施業種	
適施公益的 実機 区施能 域基別 準森 を林		水源涵養維持増進森林	B
		山地災害防止機能 土壌保全機能維持増進森林	C, D
		保険文化機能維持増進森林	
		木材生産機能維持増進森林	A
		国有林	
		市町村界	

◎施業種の凡例

	現況-将来林型	施業種 (誘導の方法)	具体的な基準
A	育単→育単 天然→天然	通常皆伐 通常	○標準伐期齢 ○皆伐20ha以下
B	育単→育単 天然→天然	伐期の延長 +10	○標準伐期齢+10 ○皆伐20ha以下
C	育単→育単 天然→天然	長伐期施業 長	○標準伐期齢×2 ○皆伐20ha以下
D	育単→育複 天然→天複 天然→育複	択伐による 複層林施業 複択	○択伐率30%以下 ○用材林の場合、現蓄積の30%以内 ○薪炭材は60%以内 ○維持材積7割以上 ただし、人口植栽による場合は ○択伐率40%以下 ○立木材積R y 0.75以上で 伐採後材積R y 0.65以下
E	育単→育単 天然→天然	主伐 (択伐のみ) 10%	○択伐率現蓄積の10%以内